

平成 2 7 年 第 9 回

教育委員会定例会会議録

平成 2 7 年 9 月 9 日

中央区教育委員会

平成 27 年第 9 回教育委員会定例会会議録

開会日時 平成 27 年 9 月 9 日（水） 午後 2 時 00 分
場 所 中央区役所 6 階会議室
出席委員 中央区教育委員会教育長 島田勝敏
委 員 松川昭義
委 員 窪木登志子
委 員 竹田圭吾
委 員 鈴木ゆか

説明のために出席した事務局職員

次 長 坂田直昭
庶務課長 高橋和義
副 参 事 斎藤公一
学務課長 伊藤孝志
指導室長 佐藤 太
副 参 事 吉野達雄
統括指導主事 柄澤武志
統括指導主事 丸山順子
図書文化財課長 俣野修一

書 記 中央区教育委員会事務局
教育行政推進係長 鷲頭隆介
教育行政推進係員 原田千恵

開 議 午後 2 時 00 分島田教育長開会宣言

会議規則第 30 条による署名委員

教育長 島田勝敏
委 員 竹田圭吾

日程第 1 議案第 47 号
中央区民文化財の登録の一部抹消について
日程第 2 報告事項
各課事業報告について

るのですが、まず、特認校として今後、当初の見込みである小規模校のより小規模化を回避しつつ、月島地域を中心とする児童が多いところの学校の狭隘化の緩和という狙いに引き続き応えていくために、泰明以外の城東、常盤あるいは阪本も含めて、2学級以上に編成していくということの考え方を今後整理していかななくてはならないことと、あとは現実的な問題として、教室を転用して整備し、給食の設備等も含めて対応するということになりますと、直ちにというのは困難な情勢でございます。

竹田委員 今のご説明に私個人としては何ら異論があるところではないのですが、聞いていて耳に入ってくる声と、あと私自身も部分的にはそのように思うところとしては、小規模校を理数推進、国際教育推進に指定することによって、当然希望が増える。そのこと自体は別に悪いことではないと思うけれども、当然、理数教育推進、国際教育推進をしているというところに区域外からの受入れ要望、入学希望が増えるのは最初からわかっていたことであろうから、いきなり倍に増やせとは言わないけれども、もう少し、5人でも10人でも増やすということを計画的に行うことも本筋ではないかという意見はあり、私自身も部分的には「なるほどな」と思うところがあります。それだけお伝えしておこうかなと思います。ありがとうございました。

教 育 長 今の竹田委員のご指摘は私どもで今後の検討に当たって反映させていきたいと思えます。ほかの方、何かございますでしょうか。

松川委員 直接、就学についてではないですけど、城東小学校の件で、先日、八重洲の再開発事業で城東小学校がビルに入って再開発されるというような報道が出ていたのですが、再開発事業でビルに入るといような、大体のことはこの委員会でも報告は聞いていますが、新聞を見ると、立派な青写真になっていて、そんなことは我々1つも聞いていないので、その辺りの状況というのはどうなっているのでしょうか。

副参事(教育制度・特命担当) 城東小学校の東京駅前再開発に伴うビルの中に入るという報道でございますけれども、教育委員会では平成21年3月にまとめさせていただきました小学校の改築計画策定調査報告書、これについては築80年を経過する小学校の今後の整備の方向性を示したものでございますが、それについてご報告させていただきました。この中で城東小学校につきましてはご案内のとおり、再開発事業が計画されているということで、その東京駅前にふさわしい特色ある学校として今後検討していくというような方向性が示されております。

そして、先週からの報道で、いかにも最終決定のような報道でしたけれども、都市計画の手続きの上では10月が東京都の都市計画決定ということでございまして、それが最終決定と聞いております。その後にビルの中に入る基本設計が始まるという段階でございまして、現時点では教育委員会はまだ

ノータッチという状況でございます。

施設づくりについては今後検討していかなければいけないのですが、当然、教育環境の向上あるいは防災拠点の整備、それをはじめ地域の核としての機能充実などを考えていかなければならないので、基本的には、そのような今日的な行政課題を解決する施設づくりを進めていくものと考えております。

また、基本設計をどうするかというのは非常に難しいと思いますが、文部科学省は学校の施設整備に関して施設整備指針というものを出しております。できるだけ低層階に入れるとか、日当たりのことも考えると、いろいろな指針があるのですけれども、その辺を十分にのみ込めるような形で反映できるような計画として進めなければならぬと考えております。

また、城東小学校は先ほど出ておりました理数教育に関するパイロット校ということでもございますので、その辺りをいかに取り入れて基本設計をやっていくか、それから竹田委員がおっしゃっていましたが学級数を増やしていくこともその中で考えていくというような方向性になるかと考えております。

以上でございます。

竹田委員

最後の意見のときに同じことを伺おうと思っていたのですが、松川委員が質問されたので伺いますが、我々が、教育委員が知っているか、知らないかということは別にして、東京新聞などの報道によると「区などによるとこの計画がある」というような、要するに区から情報が出たというように新聞の報道はなっている。区に取材をした結果として、この報道が、記事が成立しているというように読めたのです。

何を伺いたいかというと、地域と、この学区の中に住んでいらっしゃる方々、それから今通学していらっしゃる方々には、どんな説明がこの報道が出る前にされていたのかどうか、それをまず確認させてください。

副参事（教育制度・特命担当）

まず、報道の状況ですけれども、現在通っていらっしゃる児童の保護者の方々については、従来から東京駅前の再開発の状況が進んでいるという状況で、もしそれが決定された上には、城東小学校が一地主者としてビルの中に入っていくというような段階の情報しかまだお渡しできておりません。

それはなぜかといいますと、都市計画については予定の年次を超える、要はずれの可能性が非常に高い状況でありまして、その辺りを鑑みて、早めに心配を与えないようにお伝えをしているところでございます。

竹田委員

ご配慮はごもっともだと思うのですが、結果的にマスコミの報道が出たことによって初めて実情を知るという方が多かったとすると、逆に、今ご配慮いただいた以上に不安を与える部分が出てくると思います。

ですから、直接当事者性を持って今の城東小学校、それから報道にあるような国家戦略特区の指定を受けることによって開発される高層ビルの中にで

きる新しい2021年以降の城東小学校に関わりを持つ方々に対しては、可能な範囲で、多少グレーゾーンがあっても情報を出していかないといけないのではないかと思いますけれども、その点についてはどのように思われますか。

副参事（教育制度・特命担当）

先ほど学務課長からお話をさせていただきました、特認校制度の入学説明会が今後開かれていくということでございまして、その際には当然、報道がこのように出ているという状況も踏まえて、現時点での情報をご提供するということは考えております。また保護者の方にも、保護者会を通じて、あるいは教育委員会事務局又は窓口となっている都市整備部の職員が今の状況をご説明に上がるということは可能でございますので、考えていきたいと思っております。

竹田委員

もう1点だけ。最初に申し上げたように「区などによると」と記事に出ているというのは、区のどこが取材を受けた可能性があるのでしょうか。

副参事（教育制度・特命担当）

これは、国家戦略特区の東京圏の区域会議で決まったということでプレス発表がされた流れの中で、そこで東京駅前の城東小学校がビルに入っていくというのが出てきたわけですが、それに対して区で取材を受けているのは、都市整備部地域整備課でございます。

竹田委員

何を申し上げたいかということ、こういう開発計画ももちろんそうですけれども、例えばアレルギーの問題が何か区内の学校で起きたとか、いじめかもしれないかもしれませんが、要するに教育委員会事務局以外のところにも取材が入るような可能性がある事案については、いつ、どの段階で情報を出す、どこまで出すのかということと、教育委員会が管轄している当事者の方々に、いかに情報がマスコミに出るよりも前に必要な範囲の内容をご提供するかということとを、やはり仕組みとして確認していただいたほうがいいのではないかなと思っておりますが、その点はどうでしょう。

副参事（教育制度・特命担当）

今回の件につきましては、国家戦略特区の会議が3日に開かれるということとを事前に押さえていたにもかかわらず、このような報道になるとは想像できなかったもので、大変まずい対応だったと考えております。本来は区の広報及び当該の部署と連携をして情報を共有しておかなければいけないというような事案だったと改めて反省をしているところでございます。

以上でございます。

竹田委員

よろしくお願いします。

窪木委員

それに関連して、もちろんお考えいただいていると思うのですが、城東小学校が再開発でビルの中に入るとすれば、土地所有者だけでも、小学校の都合だけで改築ということはなかなかできない状態になるので、そうするとなお一層、普通の小学校の改築あるいは新築よりもさらに慎重な小学校像、将来に向けての規模やソフト面、ハード面の将来像を議論しておかない

といけないと思います。それは一度教育委員会でも議論したほうがいいのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

教 育 長 その辺は私どもも委員の皆さま方にご議論いただけるような何らかの機会を持ちたいと思います。ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。よろしゅうございますか。

(「なし」の声あり)

教 育 長 それでは続きまして、(2) 及び (3) をまとめて指導室長から報告をお願いいたします。

指導室長 「平成27年度全国学力・学習状況調査における教科別平均正答率等」について、資料2により報告。

「平成27年度「ふれあい月間（いじめ防止強化）」（第1回）の取組内容」について、資料3により報告。

教 育 長 それでは、(2) と (3) について、ご質問等よろしくお願いいたします。

松川委員 学力調査ですが、理科がちょっと悪かったということですが、細かく分析してということは大事ですが、直感として何が悪いのですか。

指導室長 まず、これは細かく分析をしていくことが大事でございますけど、自然現象・自然科学、あるいは地学的な分野の正答率が東京都や全国よりも低いです。例えば、天候や風といった天気のことや動植物についての正答率が、東京や全国の結果と比較すると低くなっています。

2点目は、観察実験の分野が、全領域ではありませんが、都や全国と比べると若干低いところがあります。単純に知識で答えるというのではなくて、実際に実験をして、考察をして、そして結論を結びつける。そこから、最終的に知識として定着させることが課題なのではないかと受け止めております。

もう少し分析をしっかりしなければなりません、今回はその2点が弱いのではないかと考えております。

以上です。

教 育 長 よろしいですか。ほかにございますでしょうか。

竹田委員 いじめのほうで言うと、小学校16校・中学校4校あり、生徒の人数を考えても、認知件数が小学校で3件、中学では0件、このデータだけ見ると、いじめのないすばらしい区であるというように思うのですが、実際、これは自治体というよりも、ご案内のように、従前から都ないし国の資料の中で認知、報告件数が乱高下するような調査ないし指導の仕方があったというのは事実だと思いますが、ただ、これだけ見てしまうと、本当に実態と合致しているのかどうかというのは、正直疑問を持つ方もいらっしゃるでしょうし、僕もちょっと疑問を感じます。それについてはどのようにお考えですか。

指導室長 私もこれにつきましてはしっかり分析しながら危機感を持たなければいけ

ないと思っております。例えば、アンケートを実施して、子どもたちからの記載はなかったのですけれども、その同じ6月の期間に保護者からいじめを訴えられ、相談に来るといったことがあります。実際にはアンケートをやっているのですけど、子どもたちは書かないという場合もあるわけですね。

ですから、そういうことも含めて、学校がアンケートをやって、子どもたちが書いていないから、いじめはないという見方ではなくて、やはり子どもたちの状況や変化をよく見て、子どもたちの立場、気持ちに寄り添って相談する形でしっかり実態を把握するとともに、相談しやすい体制を構築することも重要であると考えております。アンケートをとっても、書かなければわからないということもあるわけですから、子どもたちの回答が本当に実態を反映しているのかということを、改めて、この結果を見て、学校に問うていきたいと考えております。また、学校はその点について、常に問題意識を持っていじめを早期に発見していただけるよう、取り組んでございます。

竹田委員

ちょっと一言だけ。それは非常にいいと思いますけれども、公になるデータが、これ以外の部分も含めて、こういうアンケートをしました、そうすると、これでしたというようになると、そこで心配しているというか、学校に関わりがある地域あるいは保護者の方というのは、そこで止まってしまうと思うので、今ご説明いただいたような問題意識を持って取組を行おうとしている、あるいは行っているということも区民の方、保護者の方に伝えていくということが大事ではないかと思しますので、よろしくお願いします。

窪木委員

いじめも情報の共有をすることで小さい芽のうちに摘むことができる1つのパターンだと思います。そういう意味では、介護施設とか医療機関で、患者さんや被介護者が自分で認識しなくても、周りの職員さんたちがヒヤリハットで気づいて、それを情報共有することによって大きなけがにならないうちに防止するというのが、いじめにも考え方としては応用できるかもしれないので、先生方もお忙しいとは思いますが、こういうアンケートだけに頼らずに、一言で抽象的に言ってしまうと情報の共有化ですけど、ヒヤリハットで先生方の中で、何かちょっといじめ・からかいっぽいもの、同じ言葉でも少し違うように感じることもあると思うので、それは情報共有していただくように、ヒヤリハット報告でも何でもいいのでお願いしたいと思います。

指導室長

今、学校には学校いじめ対策委員会というのがありますがけれども、それに頼ることなく、毎週1回、生活指導部会や朝の学年会で、とにかく子どもたちのサインをしっかりと見ようと、決して教員だけではなくて、カウンセラーも含めて情報共有していこうと意識を高めていってございまして、それは引き続き取り組ませていただきたいと思います。

松川委員

5ページのスクールカウンセラー等による全員面接の成果というのは、ど

の数字がいいのかわかりませんが、こういう結果が出ているということはい
いことだと思います。スクールカウンセラーに相談する生徒の率や相談・訴
えの件数の増加が全体の中でいくらだったのかわかりませんが、スクールカ
ウンセラーが機能しているという印象は受けます。

あと、4ページ3段目の「定められた様式の「記録ファイル」により、パ
ソコンの共有フォルダに保存されるなど全教職員で共有できるようになって
いる」ですが、これは教育委員会で定められた様式があるということですか。

指導室長

まず、1点目のスクールカウンセラーでございます。教育相談室という部
屋が学校にあります。そこにどのような人が来ているかわからないという
ことが、子どもたちの中でありました。しかし、面談をすると、スクールカ
ウンセラーと直に会うことで相談しやすい関係ができると聞いておりますの
で、今後も面談を続けていけば非常に効果があるものと思っております。

また、2点目の共有フォルダにつきましては、校務支援システムの中に日
誌という機能があります。日々書き込めて、教職員全員が見ることができる
ものです。なかなか時間がなくて会議ができないところもありますので、こ
れを活用して、先生方が授業でいないときも、自分のパソコンの中に、今日
は誰々の元気がなさそうだったといった情報を共有できるような形で活用し
ておりますので、これをさらに活用していきたいと考えております。

以上です。

教 育 長

ほかにございますでしょうか。よろしゅうございますか。

(「なし」の声あり)

教 育 長

それでは引き続きまして、資料4についてご報告をお願いします。

副参事 (教育政策・特命担当)

「平成27年度オーストラリア中学生の受入れ」について、資料4により
報告。

教 育 長

ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。

松川委員

我々というか、中央区の子どもたちが行く人数と受け入れる人数のバラン
スがよくない気がしますけれども、これは何かあるのでしょうか。

副参事 (教育政策・特命担当)

はい。中央区は1校6名ということで、ここ数年は24名で派遣しており
ます。区がほとんどの費用を負担するという形で行っております。

一方、サザランド市ではさまざまな学校で募集しまして、申し込んでいただ
いた方ということで、費用もほとんど自己負担ということになっておりますの
で、姉妹都市となって以来受入れておりますが、一律何人というような指定は
しておりません。当初から定数ではなく、希望者がやってきます。

さらに申し上げますと、東日本大震災の影響でその年は中止になっていま
すが、その翌年から人数が減っているといいます。震災が本当に直接影響してい
るかは確認していませんが、1桁になってしまっているのは震災以降です。震災

以前につきましては、2桁または20名程度という形で、中央区から派遣される中学生の数と大体同じような人数で行っていたという経緯がございます。

教 育 長 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

教 育 長 それでは引き続き、資料5についてご報告をお願いいたします。

図書文化財課長 「子ども図書館員の実施結果」について、資料5により報告。

教 育 長 それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

松川委員 1点だけ。中央エフエムを聴いていたら、この子ども図書館員の参加した子どもたちがインタビューを受けているのを聞いて「楽しかった」という声が非常に多かったので、結構効果が出ているな、成果があるなと思いました。

教 育 長 ありがとうございます。

それでは、よろしければ、引き続きまして資料6に行きたいと思います。資料6のほう、庶務課長からお願いします。

庶務課長 「第36回「中央区子どもフェスティバル」の開催」について、資料6により報告。

教 育 長 10月18日、本区の子どもフェスティバルを開催するという報告です。何かございますでしょうか。よろしゅうございますか。

（「なし」の声あり）

教 育 長 それでは、報告事項の最後の案件になりますが、資料7の区長への手紙の意見・要望について報告をお願いいたします。

庶務課長 「意見・要望」の4件目について、資料7により報告。

指導室長 「意見・要望」の1件名から2件目までについて、資料7により報告。

図書文化財課長 「意見・要望」の3件目について、資料7により報告。

教 育 長 それでは、各課長から報告ございましたが、何かご質問等ございますでしょうか。よろしゅうございますか。

（「なし」の声あり）

教 育 長 それでは、報告事項は終了させていただきます。

その他委員の皆様方からご意見等ございますでしょうか。

竹田委員 2点ほど。1点は念のための確認ですが、夏休み中に区立の幼稚園、小・中学校に通う子どもが巻き込まれるようなトラブルが、プレディ等を含め校内外の事案も含めてあったのか、なかったのか。

もう1点は、これも念のために聞くのは恐縮ですが、オリンピックのロゴの撤回がありましたが、何か区として影響を受けるような部分があるのか、ないのか。区として影響を受けることがあったのか。それから、今後影響を受ける可能性が何かあるのか、ないのかです。

教 育 長 それでは、1点目、夏休み中のトラブルについて。

指導室長 区内の小・中学校のトラブルということでございますが、大きな問題は管理下の中ではなかったということでございます。

報告があるのは、部活動中に熱中症になった事例がありまして、救急搬送しております。また、教育活動外の地域活動の中で熱中症がありました。野球で遠征をして、そこで熱中症になったとのこと。こちら救急搬送されて、最終的には元気になっているという状況です。これが1点目です。

それから、2点目のオリンピック・パラリンピックのロゴの問題でございます。ポスターが配られておりましたが、全て回収をしております。もちろんこれは区としての判断もありますけれども、東京都からの指示もありまして、各学校・各所管施設に配布されているポスターには全てロゴが入っておりますので、それについては全て回収するという形でございます。

それから、先ほどの教育活動外の熱中症の件につきましては、回復しているということですが、実際にはまだ入院をしています。これは部活ではないのですけれども、地域活動で遠征に行きまして、そこで熱中症となって入院し、そのまま入院している状況です。意識はしっかり戻っております。

以上です。

学務課長 夏休みの間に各小学校の5年生が館山の臨海学校に行っていますが、月島第一小学校が民宿に宿泊して夜間寝ているときに、寝返りを打った児童が、たまたま設置してあったテレビ台の角に歯を当てて、歯が脱落して、そのときは症状が心配だったのでご家庭に連絡したところ、ご家族の方が夜遅くでも迎えに行くとお答えになり、お迎えいただいて一度お帰りいただいております。次の日の朝、歯科へ治療に行ったところ、幸い軽微だったので、その後、その足で2日目にもう一度館山にお子様がお戻りになって、引き続き参加したことがございました。

以上でございます。

庶務課長 プレディからは大きな事故報告等はありません。以上です。

教 育 長 オリンピックの、特に区への直接の影響というのは、どうですか。

竹田委員 区のお金で何か使われるとか、そういうことはないですか。

庶務課長 ロゴの関係での対応というのは、先ほど指導室長が申し上げたとおりでございます。特に大きな影響は出ていませんが、今後の進め方は、いろいろ影響が出てくるかと思いますが、それについては担当課で今後の対応について詳細が分かれば、こちらにも情報が提供されるものと思っております。

また、招致のときのバッジをもう一度使うという形で対応しています。

以上です。

教 育 長 ほかにございますでしょうか。

松川委員 さっき質問し忘れたのですが、このふれあい月間の2ページの(4)の「学

校が警察等の関係機関と連携して対応した」という項目があるので、どんな事件に、学校と警察が連携したか分かれば教えてください。

指導室長 これは詳細すぐにお答えしかねますが、その事案に対して「等」とありますので、子ども家庭支援センターや関係機関と連携して問題解決を図ったということではないかと思われます。ただ、詳細は不明のため、後ほど調べてご報告したいと思っております。

松川委員 警察と書いてありますからね。

指導室長 申し訳ありません。

松川委員 それともう1点。先日、中学校の水泳の記録会に行ったのですけれども、メドレーリレーで久しぶりに新記録が達成されていましたよ。1秒ほどタイムを縮めて。あれは新記録を出したのですから、何か表彰はできないのでしょうか。あるいは大会名で出すとか。せっかく何年かぶりで記録が更新されても、何も出ずに、はい、さようならでは寂しいと思っておりますが、いかがですか。今度17日に、タイムを計る陸上もあるので。

庶務課長 松川委員ご指摘のとおりで、体育会での表彰というのは、これは当然あるかと考えてございますが、教育委員会としての表彰につきましては、現在の規定等と照らし合わせて検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

教 育 長 教育委員会の表彰としては、いろいろ規則に照らし合わせながらご相談させていただくということでよろしいですね。

庶務課長 はい。

松川委員 大会を運営しているのは校長会ですかね。そういうところで「何か表彰したらいい」という意見があると伝えてください。

庶務課長 校長会へ働きかけて、今後、各大会での成績を教育委員会表彰の対象とするかどうかについても、校長会と連絡を取り合って検討してまいりたいと思います。

以上です。

松川委員 お願いします。

教 育 長 それでは、これで第9回教育委員会定例会を閉会させていただきます。長時間ありがとうございました。

午後3時11分 教育長閉会宣言

署名委員